

児童・生徒の平和メッセージ展のテープカットをする受賞者と県関係者ら＝19日、那覇市泉崎の県庁



平和の大切さ 絵や詩で

県内小中高生が平和をテーマにした作文や絵、詩を展開する「第23回児童・生徒の平和メッセージ展」(県主催)が19日、県庁1階の県民ホールで始まった。4212点から選ばれた102点を展示している。23日まで。開会式では最優秀賞に輝いた児童生徒ら39人に賞状が贈られた。

詩部門で最優秀賞の兼城夏穂さん(沖繩アミークスインターナショナル小6年)と宮里瑞姫さん(座間味中3年)が作品を読み上げた。兼城さんは「戦争体験者の苦しみの上に私たちがいることを忘れちゃいけない」、宮里さんは「一人でも多くの人に平和の大切さを伝えたい」と詩に込めた思いを語った。

高良倉吉副知事は「展示を通して、恒久平和を願う沖縄の心が広く伝わることを祈念する」と話した。

